



社内ディレクトリとパーソナル ディレクトリのセットアップ

- [パーソナルディレクトリのセットアップ \(1 ページ\)](#)
- [LDAP 設定 \(1 ページ\)](#)
- [BroadSoft 設定の構成 \(2 ページ\)](#)
- [XML ディレクトリ サービスの設定 \(3 ページ\)](#)

パーソナルディレクトリのセットアップ

パーソナルディレクトリには、ユーザが一連の個人の番号を保存できます。

パーソナルディレクトリは、次の機能で構成されています。

- 個人アドレス帳 (PAB)

ユーザは、次の方法を使用してパーソナルディレクトリの機能を利用できます。

- **Web ブラウザから**：[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] Web ページから PAB や短縮ダイヤル機能を利用できます。
- **Cisco IP Phone から**：連絡先を選択して、社内ディレクトリやユーザのパーソナルディレクトリを検索できます。

ユーザがパーソナルディレクトリを Web ブラウザから設定するには、設定ユーティリティにアクセスする必要があります。管理者は、ユーザに対して URL とサインイン情報を提供する必要があります。

LDAP 設定

Cisco IP PhoneはLightweightディレクトリアクセスプロトコル (LDAP) v3 に対応しています。LDAP 社内ディレクトリ検索では、名前、電話番号、またはその両方を指定した LDAP ディレ

クトリで検索できます。Microsoft Active Directory 2003 や OpenLDAP ベースのデータベースなどの、LDAP ベースのディレクトリがサポートされています。

ユーザは IP フォンの [ディレクトリ (Directory)] メニューから LDAP にアクセスします。LDAP 検索では、最大 20 のレコードが返されます。

このセクションの手順は、次の機器とサービスがあることを前提にしています。

- OpenLDAP や Microsoft Active Directory Server 2003 などの LDAP サーバ。

LDAP 社内ディレクトリ検索の準備

手順

ステップ 1 [管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [System (システム)] をクリックします。

ステップ 2 [IPv4設定 (IPv4 Settings)] セクションの [プライマリ DNS (Primary DNS)] フィールドに DNS サーバの IP アドレスを入力します。

この手順は、認証が MD5 に設定された Active Directory を使用している場合にのみ必要です。

ステップ 3 [オプションのネットワーク設定 (Optional Network Configuration)] セクションの [ドメイン (Domain)] フィールドに LDAP ドメインを入力します。

この手順は、認証が MD5 に設定された Active Directory を使用している場合にのみ必要です。

一部のサイトでは、DNS を内部で導入せず、代わりに Active Directory 2003 を使用することがあります。その場合はプライマリ DNS のアドレスと LDAP ドメインを入力する必要はありません。ただし、Active Directory 2003 では認証が単純認証方式に制限されます。

ステップ 4 [電話機 (Phone)] タブをクリックします。

ステップ 5 [LDAP (LDAP)] セクションで、[LDAPディレクトリ有効 (LDAP Dir Enable)] ドロップダウンリストボックスを使用して [はい (Yes)] を選択します。

この操作により、LDAP が有効になり、[社内ディレクトリ名 (Corp Dir Name)] フィールドで定義された名前が電話帳に表示されるようになります。

ステップ 6 LDAP の説明に従って、LDAP のフィールドを設定します。

ステップ 7 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

BroadSoft 設定の構成

BroadSoft ディレクトリ サービスを使用すると、個人、グループ、または会社の連絡先を検索して表示することができます。このアプリケーション機能は、BroadSoft の Extended Services Interface (XSI) を使用します。

セキュリティを強化するために、電話機のファームウェアがホストサーバとディレクトリ名の入力フィールドにアクセス制限をかけます。

電話機は、次の2種類の XSI 認証方式を使用します。

- ユーザログインクレデンシャル：電話機は、XSI ユーザ ID とパスワードを使用します。
- SIP クレデンシャル：電話機に登録されている SIP アカウントの登録名とパスワード。この方式では、認証のために電話機で XSI ユーザ ID とともに SIP 認証クレデンシャルを使用することができます。

手順

- ステップ1 電話機の Web ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ2 [XSIサービス (XSI Service)] セクションで、[ディレクトリ有効 (Directory Enable)] ドロップダウンリストボックスから [はい (Yes)] を選択します。
- ステップ3 XSI 電話サービスの説明に従って、フィールドを設定します。
- ステップ4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

XMLディレクトリサービスの設定

手順

- ステップ1 電話機の Web ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] をクリックします。
- ステップ2 [XMLディレクトリサービス名 (XML Directory Service Name)] フィールドに、XML ディレクトリの名前を入力します。
- ステップ3 [XMLディレクトリサービスURL (XML Directory Service URL)] フィールドに、XML ディレクトリがある URL を入力します。
- ステップ4 [XMLユーザ名 (XML User Name)] フィールドに、XML サービスのユーザ名を入力します。
- ステップ5 [XMLパスワード (XML Password)] フィールドに、XML サービスのパスワードを入力します。
- ステップ6 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

